

新段階に入った中露関係：現況とガス協力の展望

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所
戦略研究ユニット 国際情勢分析第2グループ
マネージャー、研究主幹
伊藤 庄一

問題の所在



(出所) The Financial Times及びWindVector/Shutterstock.comから作図



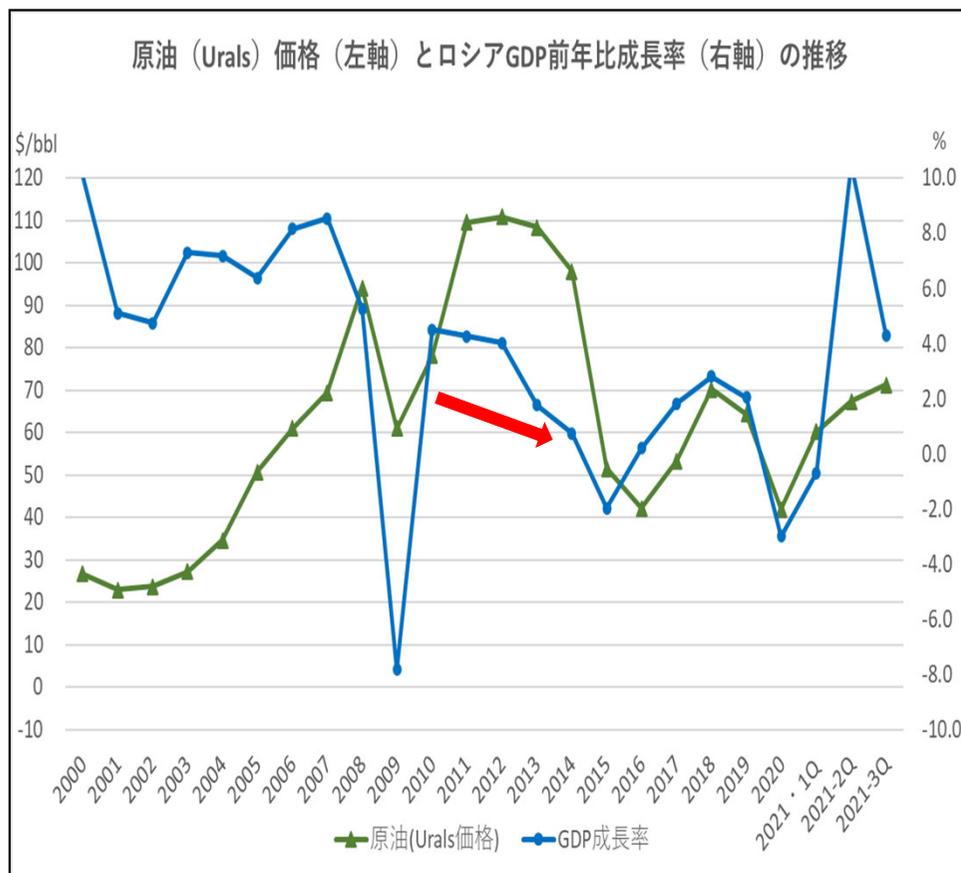
(出所) NHK



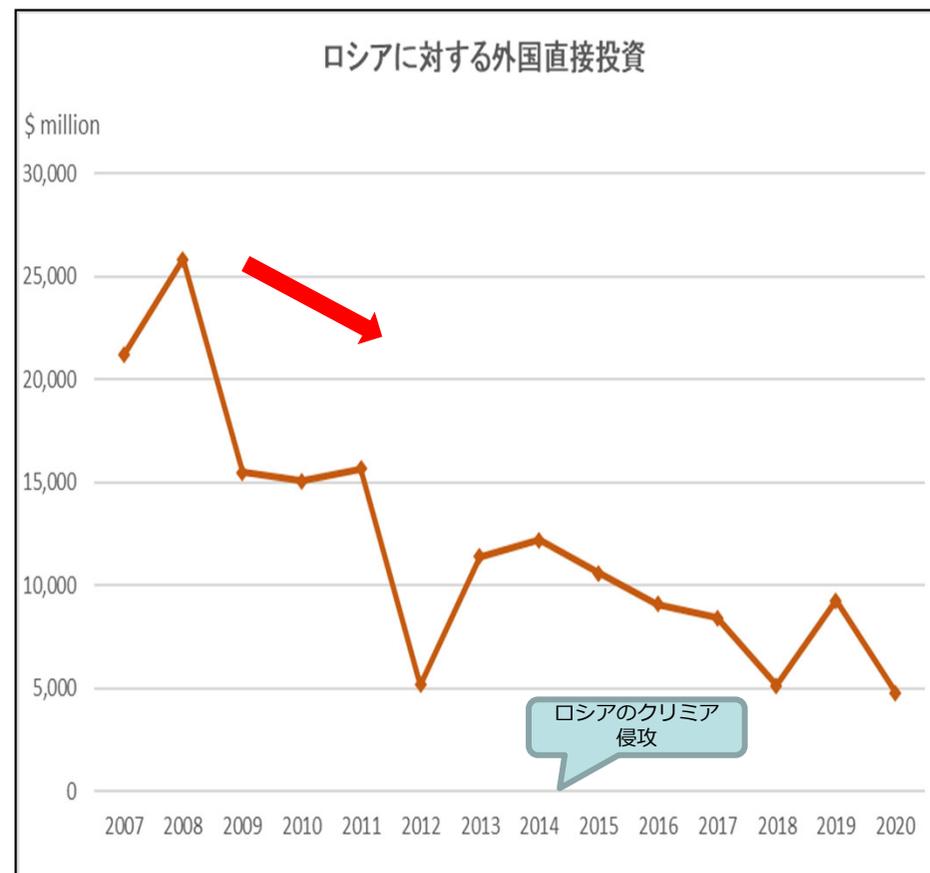
(出所) NHK

- 国際社会の注目を集める **中露関係の深化** → ますます加速度的に進んで行くのか？
- 中露関係を牽引するのは、**地政学** or **市場力学** or **国内要因**？
- **ガス部門**における、中露の更なる**協力ポテンシャル** & **不確実性**は何か？

ロシアの現況（出口の見えない経済的低迷）



（出所）油価、IEA；GDP、ロシア連邦国家統計庁



（出所）ロシア中央銀行

- 原油価格に左右される一方、**低成長経済が長期化**
- 出口の見えぬまま続く、欧米の**対ロシア経済制裁**
 - 外国投資の激減 → **中国に期待するが・・・**（後述）

ロシアの現況（高まる国民の不满）

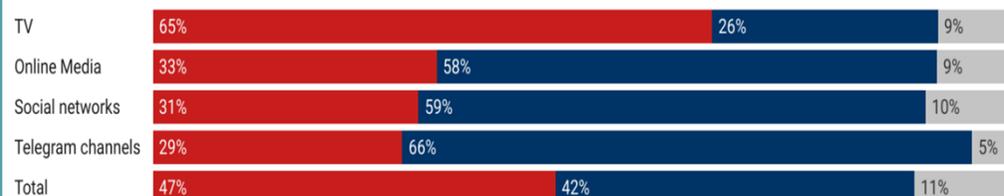
ロシア国民の实质可処分所得(対前年比)



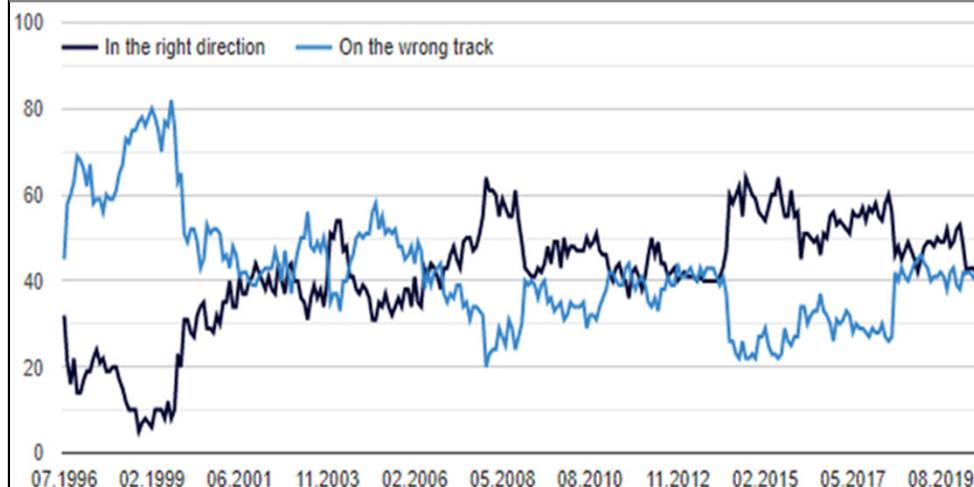
Would you like to see Vladimir Putin as president of Russia after his current term, after 2024?

As % of respondents

■ Would like ■ Would not like ■ Can't sa



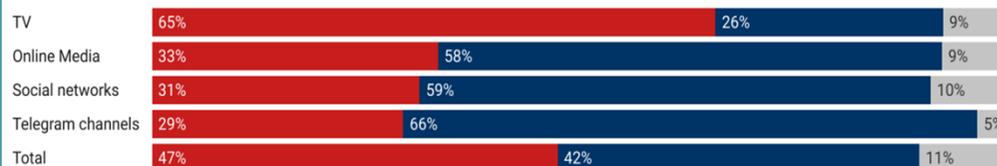
Q: ロシアは正しい方向に向かっているか？



Would you like to see Vladimir Putin as president of Russia after his current term, after 2024?

As % of respondents

■ Would like ■ Would not like ■ Can't sa

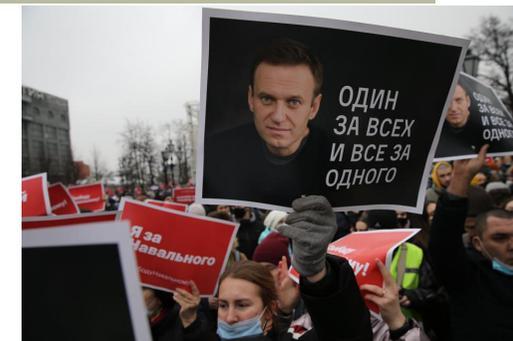


(出所) 世論調査機関Levada Center（在モスクワ）：2021年9月、ロシア連邦の50地域で1,600人強を対象に実施。

- 改善しない生活水準、蔓延する社会的閉塞感
 - 2000年代の自信・高揚感は過去のもの
- 燻り続ける反体制運動の動き
 - 次第に焦燥感を強め、強権的傾向が強まるプーチン政権
 - 但し、ロシアの政治システムは、中国（党＝国家）よりも複雑。

ロシアの現況（プーチン体制の不安定化と対中接近）

- ロシア憲法改正（2020年7月）
 - 国民投票の結果、「公式発表」では約8割の支持で、法制度上は2036年までプーチン政権の存続（事実上の終身大統領）が可能に。
 - しかし、前後して**反体制運動が活発化**。
- ロシア連邦議会下院選挙（2021年9月）
 - 政権与党「統一ロシア」が3分の2強の議席を獲得したが、露骨な選挙違反行為、反体制派の出馬阻止&徹底的な弾圧が横行。
 - **旧ソ連崩壊後、最も操作された非民主的選挙**として、欧米からの批判の的に。
- 対外強硬姿勢を貫く一方、ロシアの危機意識を煽り、より一層の権威主義体制の強化 → プーチン政権（露）と習近平政権（中国）の親和性
 - ロシアの場合、もはや必ずしもナショナリズム高揚に直結せず。
- 直近のプーチン大統領発言をどう読むか？
 - 「私が再出馬するか否か未定だが、立候補する権利の存在それ自体が既に国内の政治状況を安定させている」（Reuters, Nov.30,2021）



(出所) Forbes



(出所) The Moscow Times

中露関係 (厳しさを増す国際環境)

ベラルーシ問題



© The Guardian / The Moscow Times



新たな中露v.s米の軍拡の舞台になりつつある北極海



© South China Morning Post

Illustration: Craig Stephens

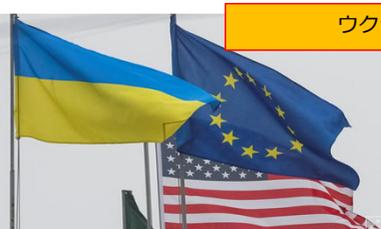
2022北京五輪、外交的ボイコット、英・加・豪が米に同調



© TBS News/YouTube



「中露海上連合2021」



© Reuters/Gleb Garanich

ウクライナ問題



© Daily Mail Online



新华网 www.news.cn

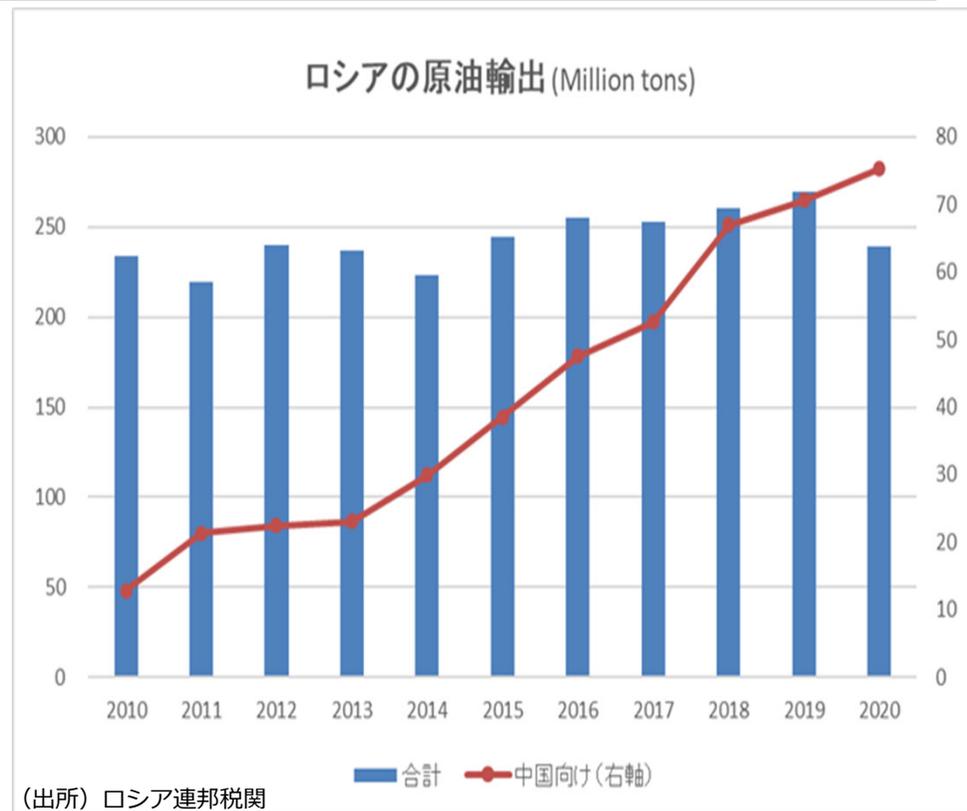
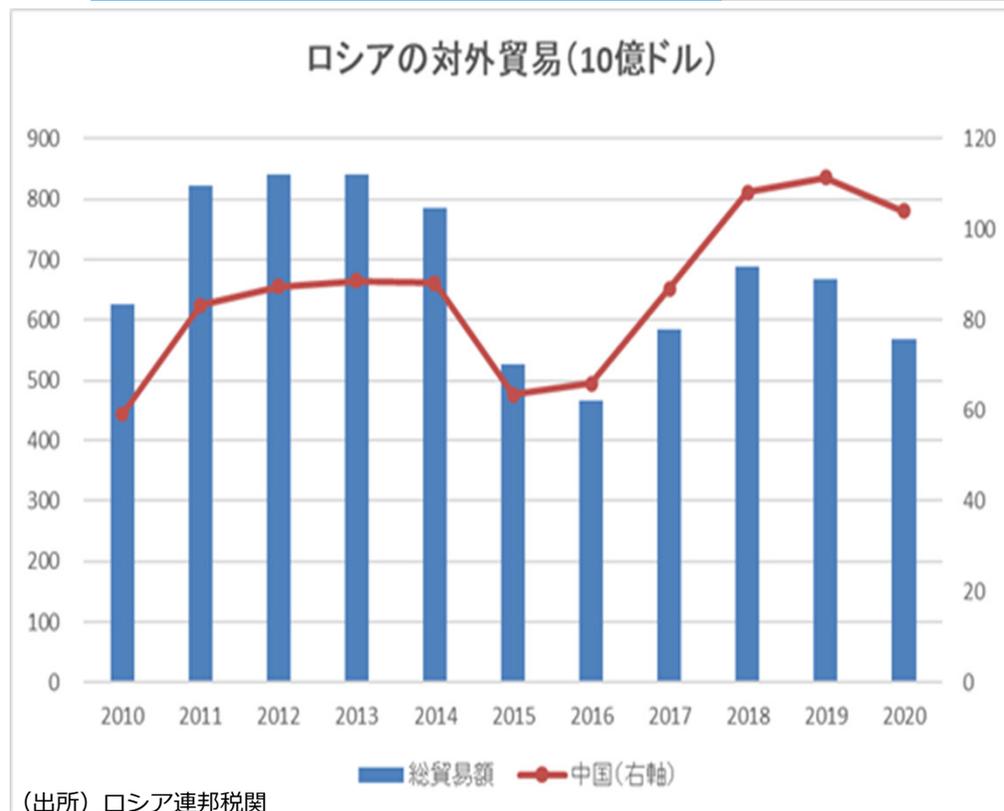


A FREE AND OPEN INDO-PACIFIC



- **中露指導者の共通利益**：欧米主導の**国際的「包囲網」**（民主主義的価値・政治手法、人権、透明性ある法の支配の要求等）の**打破** v.s. **次第に強まる欧米+aの団結傾向**
- 中露「戦略的パートナーシップ」の先にあるものは何か、どこまで共同歩調を取り続けられるのか？
 - プーチン大統領は、「**中露（軍事）同盟**」の可能性を**仄めかし**始めているが・・・

中露関係（経済-貿易）

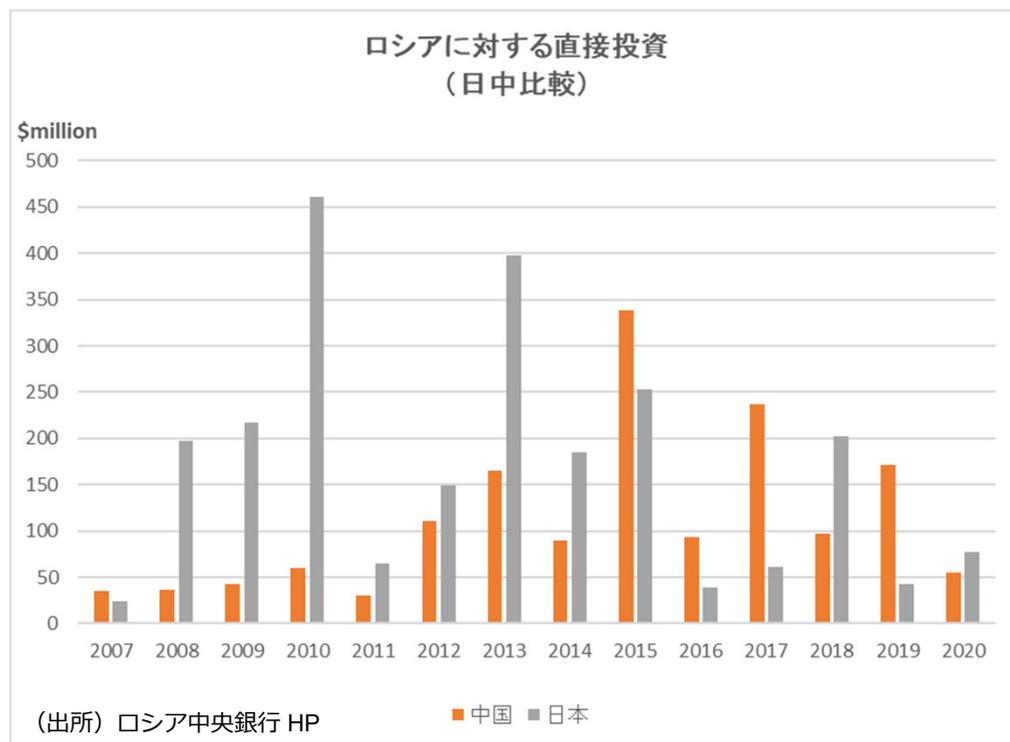


- 2010年以降、中国は最大の貿易相手
- 貿易全体に占める中国の割合：9%(2010)→18%(2020)

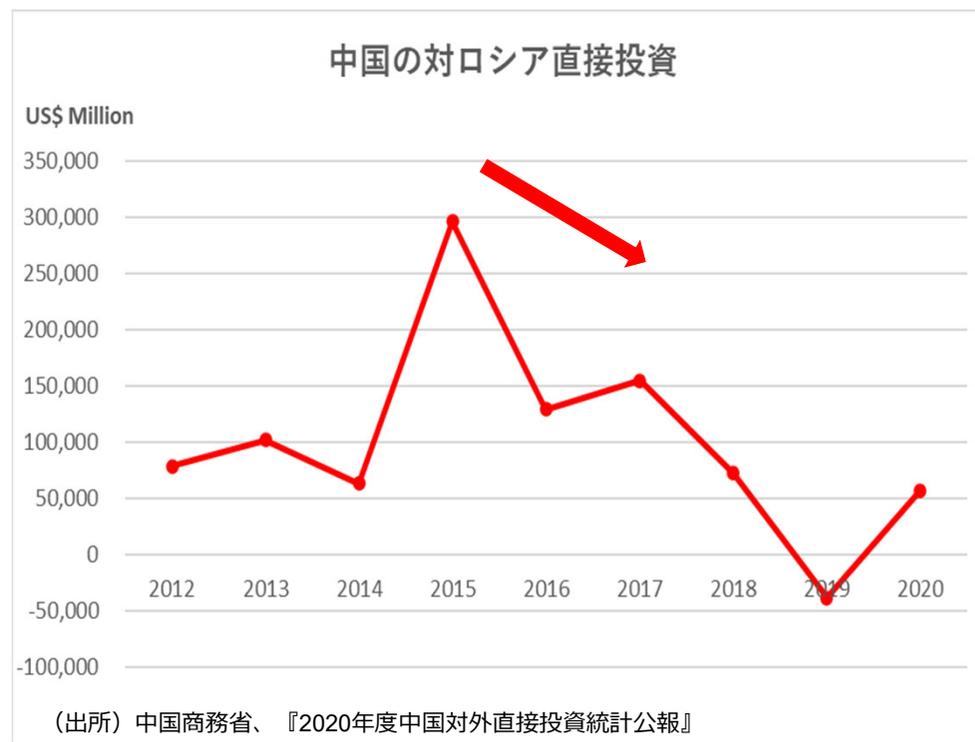
- 原油輸出全体に占める中国の割合：5%(2010)→31%(2020)
- 対中輸出総額に占める原油の割合：2010年代以降は5~6割

- 政高経低（'00年代）→ 政高経高（'10年代以降）
 - 経済的相互依存の深化が政治関係を補強
- これまでは原油輸出がロシアの対中輸出額増を牽引
 - この先、ガス輸出が新たな促進要因に。

中露関係（経済-投資）



ロシアに対する外国からの直接投資に占める中国の割合:
3% (2015) → 1% (2020)

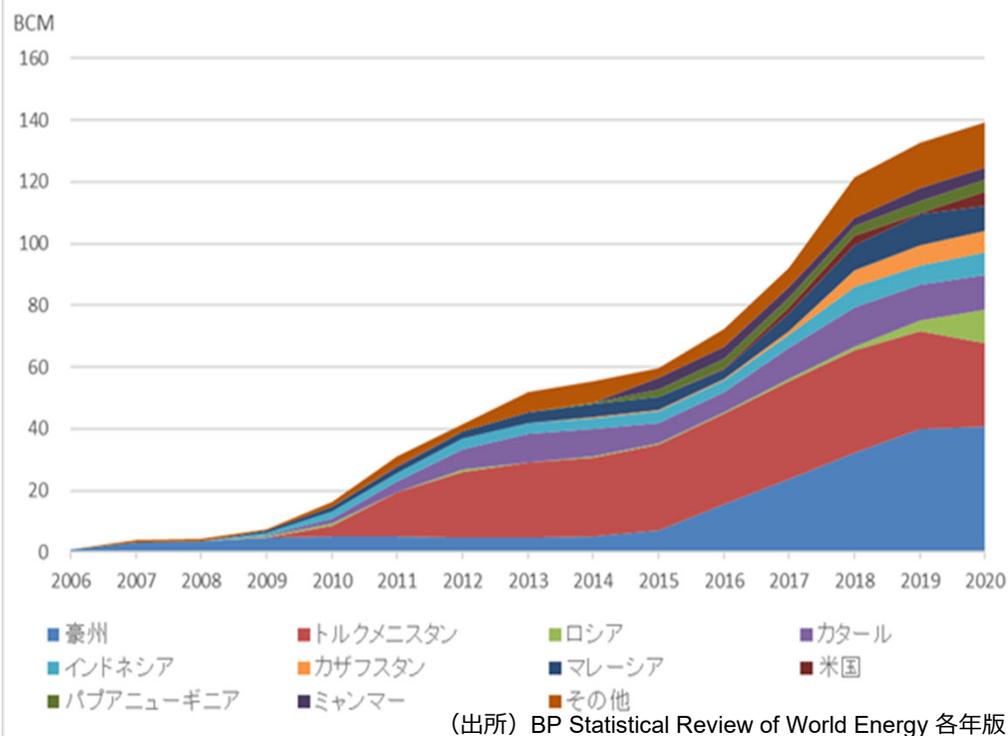


- 中国の対外直接投資に占めるロシアの割合：
2% (2015) → 0.4% (2020)
- 中国の対外直接投資（累計）に占めるロシアの割合：
0.5% (2020年時点、120.7億ドル)

- 経済制裁が続き、西側からの外国投資は急減。
➤ プーチン政権は、中国からの投資拡大を期待するが・・・
- 中国は対ロシア投資に関し、極めて慎重。

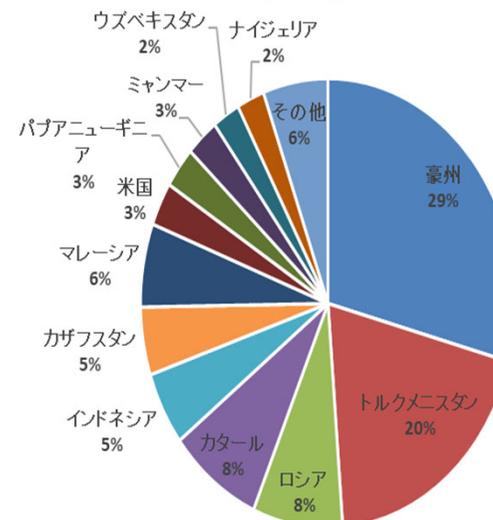
ガス分野の中露関係：貿易の現況

中国のガス輸入(国別)



中国のガス輸入依存率：
12% (2010) → 32% (2015) → 43%(2020)

中国のガス輸入先 (2020年)



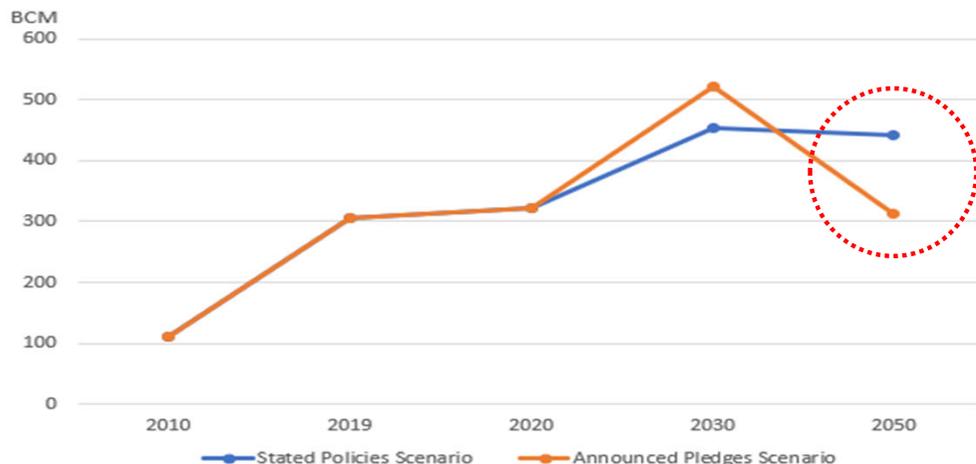
(出所) BP Statistical Review of World Energy 2021

- ✓ 2009年、サハリン-2からのLNG輸入開始
- ✓ 2019年、Power of Siberia-1からのPLガス輸入開始
- 長期的に、ロシアの対中国ガス輸出は、**どこまで拡大し得るのか？**
 - Power of Siberia-2, サハリンプロジェクト拡張など・・・

ガス分野の中露関係：

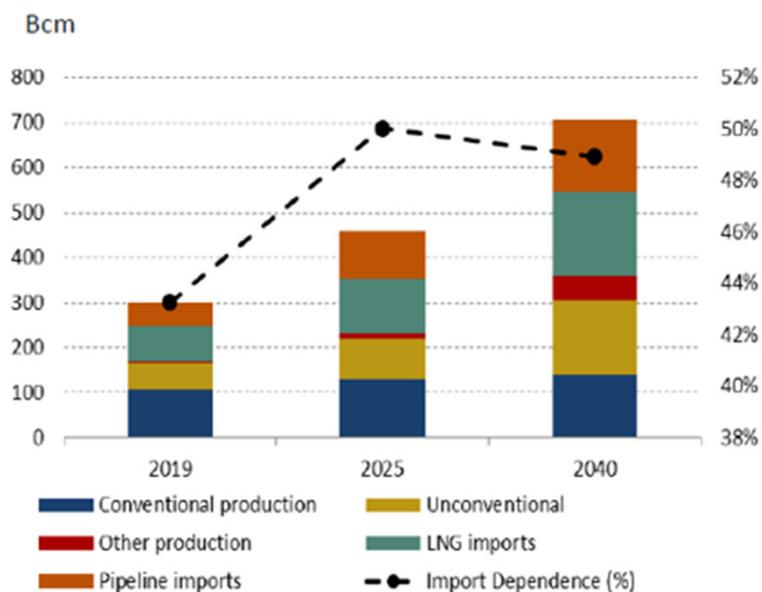
中国のガス需要・輸入ポテンシャルをどう見るか？

中国のガス需要展望(IEA)



(出所) World Energy Outlook 2021

中国のガス需要展望(CEDIGAZ)



(出所)Medium and Long Term Natural Gas Outlook 2020

欧州・中国ガス市場の比重変化の展望

PROJECTED GAS DEMAND IN EUROPE AND CHINA



(出所) Gazprom (2021)

PROJECTED IMPORT OPPORTUNITIES IN EUROPE AND CHINA



➤ ロシアは、拡大する中国ガス市場に期待するが、様々な不確実性も。

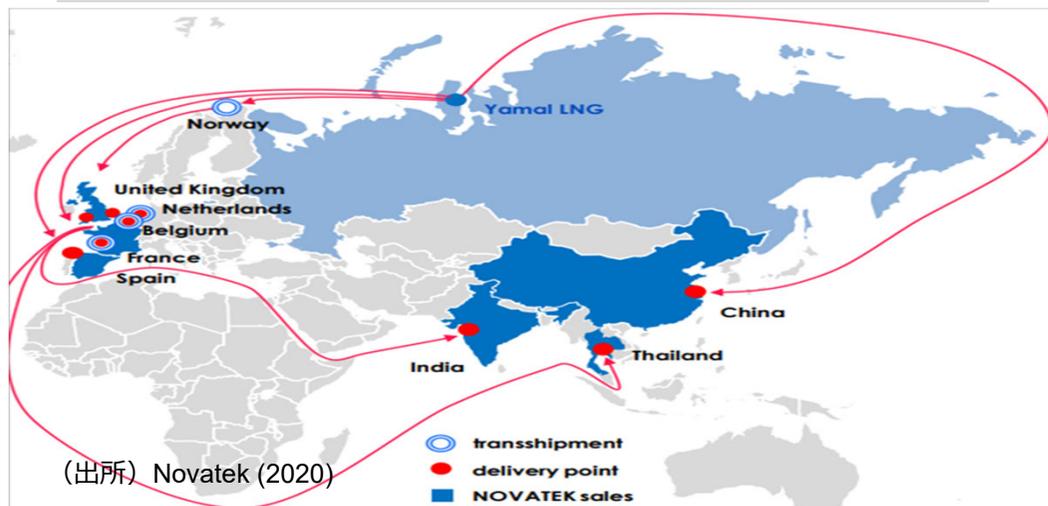
(例)

- 中国のガス需要の増大規模／ピークの時期
- 低炭素戦略上のガスの位置づけ
 - ・・・「3060目標」の行方は？
- ロシアの新たな対中輸出インフラ完成の時期は？
- ガス供給国間の競争は？

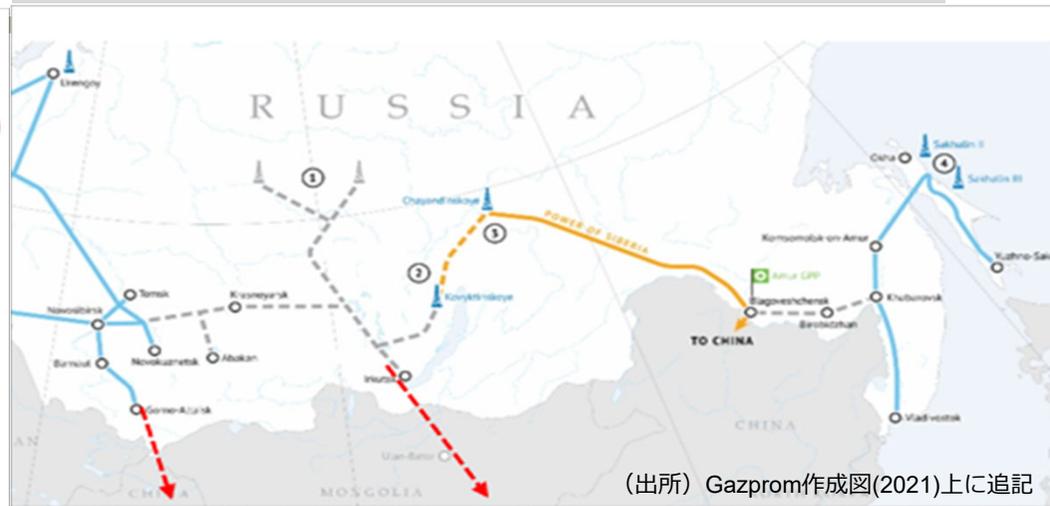
➤ 参考資料参照

ガス分野の中露関係：ロシアの対中ガス輸出構想

LNG供給

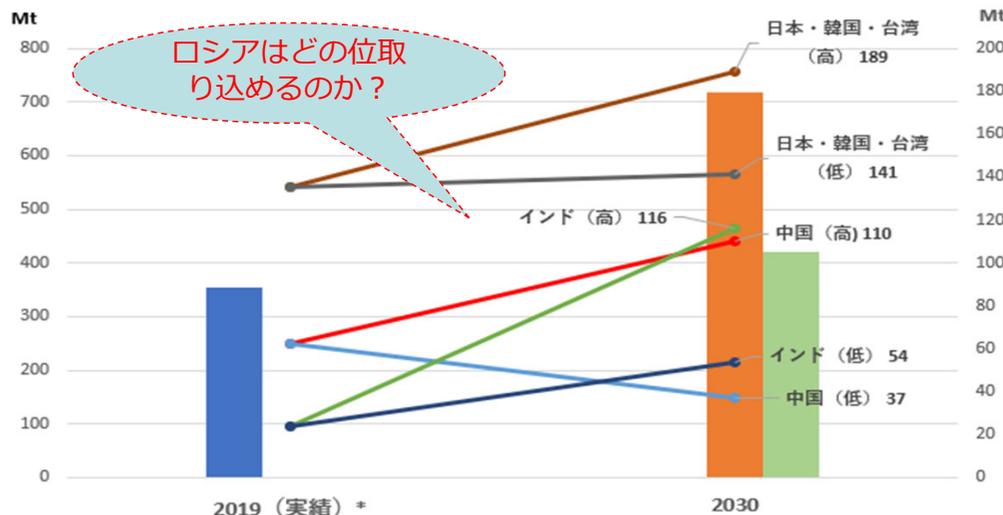


パイプライン供給



LNG需要の展望

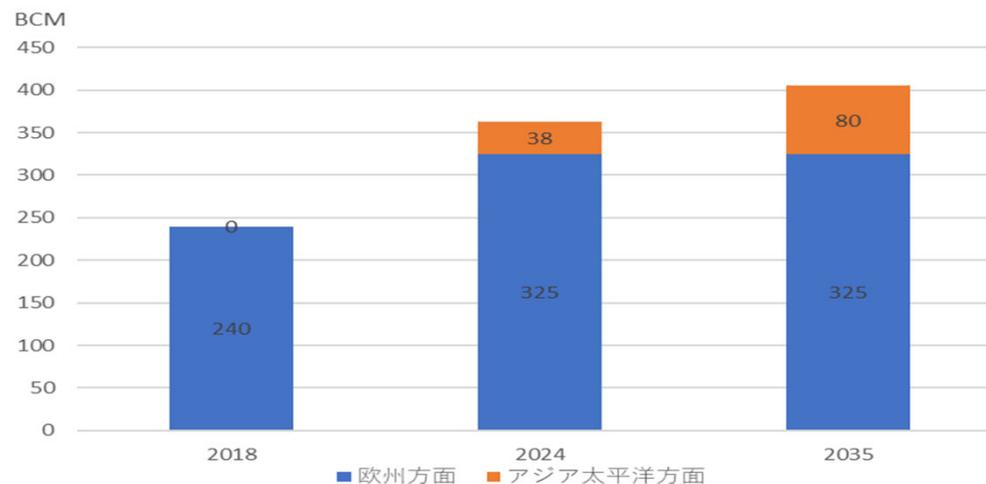
『ロシア連邦のLNG生産発展長期計画』(2021年3月)



*各国の値: BP Statistical Review of World Energy 2021から追加

ロシアのPLガス輸出展望

『2035年までのロシアエネルギー戦略』(2020年6月)



- ロシアのPLガス輸出に占めるアジア太平洋の割合 (政府目標) : 12% (2024) → 25% (2035)
- ロシア政府が見込む、2030年のLNG需要 (対2019年比)
 - 世界全体 : 19%増(低) ~ 約2倍(高) ; 日中印韓台 : 4%増(低) ~ 40%増(高)

ガス分野の中露関係：東シベリア・極東方面の供給ルート



(出所) Gazprom HP上図に追記

- **Power of Siberia-1 PL** (約3,000 km; max 38 bcm/y)・・・2019年12月稼働。
 - **Chayandaガス田** (埋蔵量: 1.2 tcm) : 2019年生産開始。生産量 : 4 bcm強(2020年) → 25 bcm (2024年～) 予定
 - やっと動き出すKovyktaガス田 (埋蔵量: 1.8 tcm) : 2023年生産開始予定 (5 bcm) → 15 bcm (by 2026 ?)
- **SKV (Sakhalin-Khabarovsk-Vladivostok) PL** (1,800 km超 ; max 5.5 bcm)・・・2011年9月稼働
 - ロシア国内利権争い・・・Gazprom v.s. Rosneft
 - 対中供給量・具現化時期は不透明、(サハリンからの供給増分に不確実性 : South Kirinsky鉱区対象の経

ガス分野の中露関係：地政学的緊張も高まる北極海

中露の北極海パートナーシップ

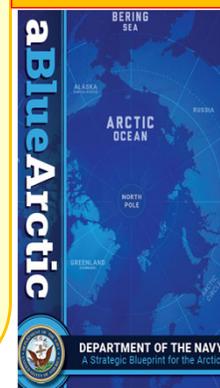


中露 v.s. 米国の角逐



- 北極海開発：ロシアの「LNG輸出大国」化路線の「アキレス腱」
- ロシアの北極海戦略：「2035年に向けたロシア連邦北極圏開発・国家安全保障の確保戦略」(’20年10月)
 - 経済インフラ（ガス・石油開発を含む）・軍事インフラの拡充の必要性を強調
- 北極海は中露関係強化の新たな舞台へ
 - 中国：米国との対立が深まる中、マラッカ海峡を回避する北極海航路の確保 + 対米牽制の軍事協力の必要性を強調（国内報道続出）
 - ロシア：プーチン大統領の対中傾斜路線 → 関係者は一枚岩ではない。

米海軍文書「青い北極圏」(2021年1月)や米国FY2021国防授權法でも、中露の軍拡路線/軍事協力に警鐘



H. R. 6395—1341
Subtitle C—Arctic
 SEC. 8421. COAST GUARD ARCTIC PRIORITIZATION.
 (a) FINDINGS.—Congress makes the following findings:
 (1) The strategic importance of the Arctic continues to increase as the United States and other countries recognize the military significance of the sea lanes and choke points within the region and understand the potential for power projection from the Arctic into multiple regions.
 (2) Russia and China have conducted military exercises together in the Arctic, have agreed to connect the Northern Sea Route, claimed by Russia, with China's Maritime Silk Road, and are working together in developing natural gas resources in the Arctic.

まとめと今後の着眼点

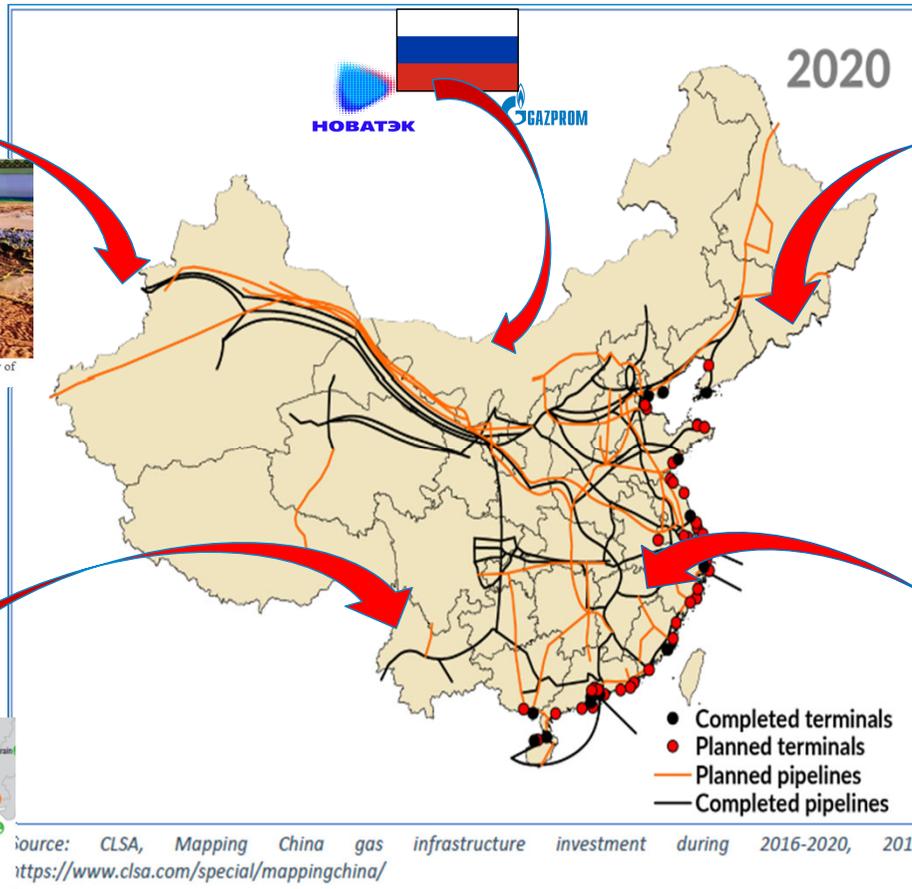
- 米露関係と米中関係の緊張の高まりを背景に、今後、**中露関係が更に深化する可能性**は非常に大きい。
 - 国際政治上の駆け引き & 地政学的ダイナミズムを注視する必要性。
- 中国の**対ロシア投資が進むか否か**は、ガス関連部門を含め、**かなり不透明**。
 - 中国の対露関係強化に向けた政治的インセンティブが経済的合理性やエネルギー市場動向の判断を凌駕し得るのか？
- ロシアが**対アジア・シフト（ガス輸出を含む）**を図る上で、**タイミングよく輸出インフラが完成するのか？**
 - 新規ガスPLルート、中国のガス需要増規模、ガス輸出諸国間の競争、投資家の確保等々を含め、**様々な不確実性**。
- ロシア国内の**対中戦略議論（ガス協力を含む）**は、決して**一枚岩ではない**。
 - プーチン政権内の**権力闘争・利権争い**とも連動。

中国ガス市場を狙うサプライヤー間の競争



An illustration of the length of the Turkmenistan-China gas pipeline. [Photo The State News Agency of Turkmenistan]

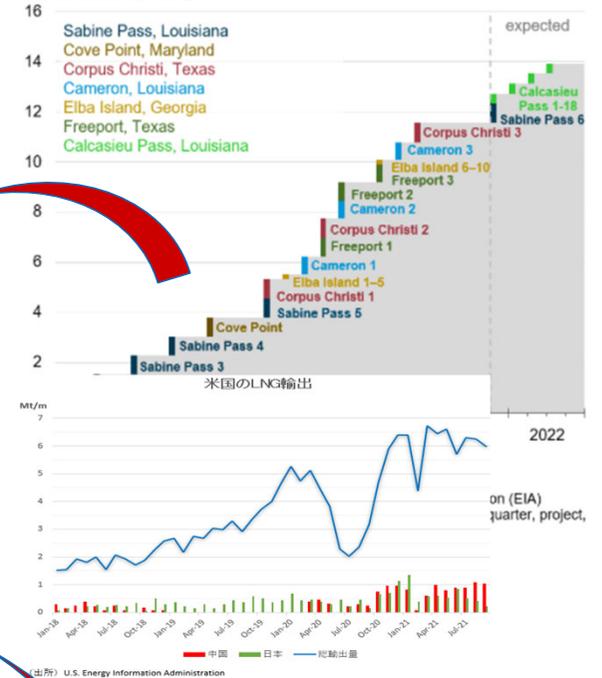
(出所) China Daily



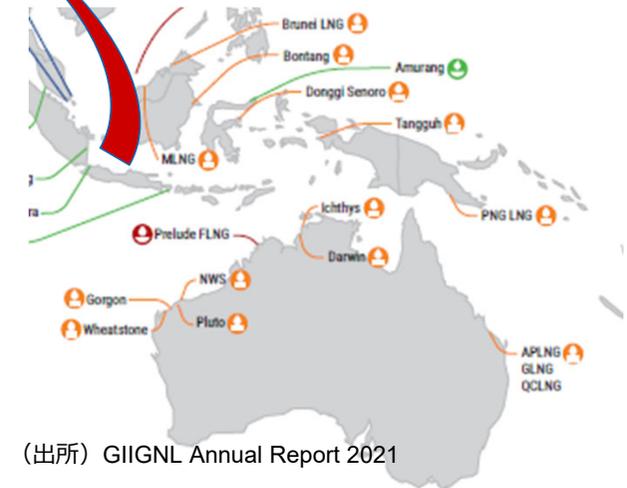
Source: CLSA, Mapping China gas infrastructure investment during 2016-2020, 2017, <https://www.clsa.com/special/mappingchina/>

(出所) Cedigaz Insights #32: Blue Skies and Natural Gas in China, January 2019.

2022年末までに米国のLNG輸出設備容量が世界一に(EIA予測)



(出所) U.S. Energy Information Administration



(出所) GIIGNL Annual Report 2021